

令和6年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会特別委員会 会議録(概要)

●日時 令和6年10月25日(金) 午後2時00分～午後3時00分

●場所 江南市防災センター 2階 防災セミナー室(南)

●出席委員(9名)

|          |           |
|----------|-----------|
| 委員長 石井 進 | 委員 森田 英守  |
| 委員 柴田 広美 | 委員 尾関 義久  |
| 委員 岡田 吉次 | 委員 森 ケイ子  |
| 委員 安藤 晴通 | 委員 尾関 奈緒美 |
| 委員 黒岩 弘子 |           |

●欠席委員(1名)

委員 安藤 健次

●事務局

|              |
|--------------|
| 環境課 課長 相京 政樹 |
| 環境課 主幹 稲波 克純 |
| 環境課 主査 牛尾 和司 |
| 環境課 主事 石塚 建伍 |

●会議経過

開 会

●会長

本日は、「令和6年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会特別委員会」を開催しましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

江南市廃棄物減量等推進協議会の会議は、一般の方にも公開しております。本日は傍聴を希望する方がお見えになります。

「江南市審議会等の設置及び運営に関する指針」第7条第2項の規定により、傍聴に関して必要な事項は、会長が会議に諮って定めることとなっておりますので、委員の皆様にお諮りします。

会議の傍聴に関して異議のある方はいらっしゃいますか。

<異議なしの声あり>

異議なしとのことですので、傍聴人の入室を許可します。

事務局は対応をお願いします。

●会長

それでは議事に入りたいと思います。

議題「食品ロス削減推進計画の概要について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、発言をお願いします。

●会長

家庭から出る食品ロス量は、生ごみの中身を調べて、対象物がこれだけあるというように出すのですか。

●事務局

毎年、県が実施している一般廃棄物の実態調査の中で、各市町の可燃ごみの排出量を県が把握しておりますので、そこから割り出した数字です。まもなく最新の食品ロス量が示されますので計画に反映させます。

●会長

事業系も同じような形で実態調査に基づいて数値を出しているということですか。

●事務局

事業系は国が公表している全国の食品ロス発生量や、食品リサイクルに基づく定期報告の実績値から市町村の食品廃棄物を算出して数値を出していると聞いています。

実際のところ、この食品ロス量は、厳密には把握しづらいところがあります。概ね資料のような指標がある中で、どのように食品ロス削減に向けた取組を行っていくかということになりますが、すでに江南市は食品ロスの認知度が非常に高く、食品ロスの削減と、認知度の向上という二本立てで指標にしようと思っておりますが、認知度についてはすでに高水準です。その点を踏まえて、認知度の指標をさらに高く置くのかどうか、その点についてご協議いただきたいのと、食品ロスの削減量をどのように設定するのかということも協議したいと思っております。

●会長

この議題を進めていくにあたって、次のページの市が行ったアンケート調査の結果についても

ご説明いただくとありがたいです。

<事務局説明>

●委員

このアンケートの結果については、その年齢層ごとに関心の違いがあるかと思しますので、年齢層に分けて結果を出した方が良いかと思えます。

●事務局

年齢別に集計することはできますので、今後、計画を進めていくにあたって今のご意見を参考にさせていただきます。

●委員

事業系の食品ロスとは具体的にはどのようなものですか。野菜とか、飲食店で出た食べ残し等ですか。かなりの量が出ていると思いますが、食品ロスを所定の場所に持って行き、たい肥にするという取組はできないでしょうか。

●事務局

事業系の食品残渣には、飲食店から出る食べ残し、製造業から出る残渣、小売店から出る商品の売れ残りの3種類があります。このうちどの比率が高いかというのは把握していませんが、コンビニ等は弁当類がたくさん出ます。

過去に、売れ残った弁当を集めて、たい肥にするという取組をしていたコンビニチェーンもありました。私どもも収集業者を通じて働きかけをしているところですが、受け入れ側のたい肥製造業の採算性が合わないという現状もあるようです。ただ、受け入れ可能なたい肥製造業者があるか探ることは必要だと思いますし、今後もいろんな視点で検討していきたいと思っています。

●会長

アンケート調査の結果から、食品ロスに関する市民の意識が高いことが分かりました。事務局として、今後はどのような目標値を掲げて計画を立てていく予定ですか。

●事務局

食品ロスの削減量と認知度の2本で目標値を立てたいと思っています。1人1日当たりのごみ

の量というのも、下げられるところまで下がっていると思われる状況の中で、食品ロスの部分に焦点を当てれば、もう少し削減できるのではないかと考えています。

#### ●委員

コンポストを使用してたい肥にするなどして、排出を減らすことはできると思いますが、小売店の売れ残りなどの削減はなかなか難しいのではないかと考えています。市としてそのあたりはどのようにお考えでしょうか。

#### ●事務局

事業者がどのような取組ができるかというところですが、先日、環境課でイベントを実施して、コンビニチェーンに出店していただいたのですが、「てまえどり」というPOPを子供たちが作り、商品棚に掲げて、消費、賞味期限の近いものから取っていただくことを推進する取組の説明をしていました。

数年前からSDGsが叫ばれており、企業も目標を立てて努力をしていかないといけないという立ち位置にあるので、市も協働して取り組んでいきたいと考えています。

#### ●委員

かなり前の話ですが、春日井市にたい肥を作る工場があったかと思っています。そのような施設へ、市内の各企業から持って行ってもらうと良いのではないのでしょうか。企業もそのような活動しているという宣伝ができるので、良い施策になるのではないかと考えています。

他市町村でも食品ロス削減についてどのようなことをしているのか、調査してみるのも良いかと思っています。

#### ●事務局

2年前くらいに、小牧市に民間で食品残渣を集めてメタンガスを作る工場ができ、小牧市が中心になっていろいろ呼びかけをされていました。本市もそれを聞きつけて、業者に投げかけてみましたが、処理費用の折り合いがつかず、実施には至りませんでした。ただ、せっかくそのような工場が立ち上がっているのに、うまく活用できないという思いはあります。地元でそういう企業があるところとないところで、取組の差が出るのかもしれない。

●委員

食品ロス削減の達成に向けた役割分担と計画の推進体制について、それぞれ市民、事業者、団体、行政とありますが、具体的な推進体制は整っているのでしょうか。このような計画を立てるのであれば、取り組みやすいように楽しくやった方がいいと思うのですが、環境課としてはある程度の計画のイメージは立てているのでしょうか。

●事務局

お手元に愛知県が作成したパンフレットがありますが、児童に配って取組を推進するというところで作られたものだと思います。

楽しみながらという点においては、エコクッキングのような取り組みをして、捨ててしまうような食材を増えないようにしていく方法も良いのではないかと考えています。

他に具体的にこういう取組をするといいのではという考えがあれば、ぜひこの場でお聞きしたいと思います。

●委員

過去には使い捨てが主流だった時代もありますが、現在、物価がかなり上がって使い捨ての習慣も少なくなったのではないかという気がします。このアンケートを見ると、江南市は愛知県の中でも意識が高く、取組も行っているので、これ以上何に取り組むのかという思いもあります。

具体的に楽しく取り組む方法があれば、計画へ加えると良いと思いますが、食品ロス問題に関する認知度については、令和16年度には100%としか設定のしようがないのではないかという気もしています。そうなる目標としてあまり意味がないのではという感じがします。

もっと大きな目で見れば、これから日本の人口は減っていきますが、世界の人口は増えていくので、当然、食品ロスは削減していかなければならないと思いますが、具体的にどのような取組をするのが良いのかと思っています。

●事務局

市では、平成28年からフードドライブを継続的に実施しており、毎回市民の方からたくさんのお食品をお持ち込みいただいています。この事業を実施していなければ、全て廃棄されていたので

はないかということを考えれば、これも食品ロス削減への地道な取組なのではないかと感じています。

あとは、消費者行政と連携を取りながら取組を行っていくということも必要と考えていますので、例えば、消費者団体のイベントでも環境課として食品ロス削減の啓発をさせていただくなど、各種イベントに参加することを来年度以降も行っていきたいと思っているところです。

●委員

ごみ処理基本計画と、今、議論している食品ロス削減推進計画がありますが、ごみ処理基本計画が本体としてあって、その中に食品ロス削減推進計画があるということで間違いないですか。

●事務局

そのとおりです。江南市ごみ処理基本計画の中の第3章に食品ロス削減推進計画を位置づけていこうと考えています。愛知県の他市町村でも同じような位置づけで考えています。計画の容量は市町村によって様々ですが、江南市はしっかりと作っていこうということ考えています。

●委員

令和16年度の食品ロス削減の認知度については、どのような目標値に設定しますか。

●事務局

今回いただいたご意見を踏まえながら、どのように設定するかは検討させていただきたいと思っています。

●会長

これもちまして、第1回江南市廃棄物減量等推進協議会特別委員会を終了させていただきます。本日はご審議を賜りありがとうございました。